

大槻重之著

インドネシア専科

第2巻 地誌編 上

表紙絵（スマトラ島ブラスタギ）について
清原嘉彦

昔の住友本社時代に、北スマトラのトバ湖周辺に植林した、約 1.5 万 Ha の植林地見学の為、ブラスタギに入る。高原のロッジの近くの公園からの、火山シナヴン山を観て驚く。周りの大型のサルビアの高山植物群の美しさが忘れられない。

はじめに

今回の「インドネシア専科 B 地誌編」刊行の趣旨は先行の「風土編」で述べたとおりでありますので割愛します。写真も地図もない文章だけの地誌の記述は殺風景の感は否めませんが、インターネットと併用することでご寛容いただきたく思います。

ところで「地誌」なる用語ですが、地誌とは地域事情の総括の意味で使用しています。およそ 20 年前、インドネシア各地の地誌を書き並べたものが次第に発展拡大したものが現在の「インドネシア専科」です。この意味では「インドネシア専科」全 8 編の中では最も思い入れの深いのが地誌編です。

海外旅行が盛んになり各種ガイドブックが刊行されています。一般にガイドブックは観光案内書です。一方、歴史や社会、文化になると専門書の記載は難しく敬遠したくなります。本冊子の「地誌」の狙いは地点ガイドに歴史、文化、社会などの地域事情を盛り込んだものであります。

一般に地理と歴史を別分野に切り離していますが、私は地理と歴史は不可分であり、一体として語るべきと思ふその表れが地誌です。ラッフルズの「The History of Java」は「ジャワ史」でなく「ジャワ誌」と訳されるのは history という名のもとに森羅万象を網羅しているからです。

インドネシアを知るためには見て廻るのですが、広いインドネシアですから隅々まで廻ることは非現実的であります。しかしながら訪れる機会のあつた所の歴史的背景や文化的異議を知れば愛着もまします。まだ行ったことのない所の事情をも知ることによってインドネシアの全体像が鮮明化してくると思ふます。

2007 年 8 月

著者しるす

インドネシア専科

編者前書き

2018年に亡くなった大槻重之さんから生前にこの「インドネシア専科」をもう一度インターネットに挙げてほしいと依頼されたのでここに編集して掲載するものである。

編集にあたって、巻末の注を脚注に異動し、必要に応じて「編者註」も追加したものである。

図と写真は編者が作成・撮影して本文に追加したものである。

原文にあった明らかに誤字と思われるものを修正するとともに、原著にあった「ソゴ」などの鼻濁音は現地の発音に近くなるように「ソゴ」に改めた。

2019年6月

編者 田口重久 <omdoyok@infoseek.jp>

【地 誌 編（上巻）目 次】

B-1 スマトラ島		1 1 4. ボゴール植物園	41
0 8 1. スマトラ島の地形	7	1 1 5. 新バンテン州	42
0 8 2. スマトラ島の人文地理	8	1 1 6. ウジュン・クロン半島	43
0 8 3. アチュ/西の正門	9	1 1 7. 幻のバウ炭坑	44
0 8 4. 先端のサバン	10	1 1 8. チルボン市	45
0 8 5. アラス溪谷	11		
0 8 6. カロ高原	12	B-3 中部ジャワ	
0 8 7. カルデラのトバ湖	13	1 1 9. クジャウエンの地	47
0 8 8. デリ/新開地	14	1 2 0. ジョグジャカルタ市	48
0 8 9. メダン市	15	1 2 1. クラトン/王宮	49
0 9 0. カンパル河流域	16	1 2 2. マリオボロ通	50
0 9 1. プカン・バル市	17	1 2 3. イモギリ霊廟	51
0 9 2. ミナス油田	18	1 2 4. パラントゥリティス海岸	52
0 9 3. 石油のデュマイ港	19	1 2 5. 霊峰ムラピ山	53
0 9 4. リアウ諸島	20	1 2 6. ボロブドゥールの発見	54
0 9 5. ビンタン島	21	1 2 7. ボロブドゥールの復興	55
0 9 6. インド洋上のニアス島	22	1 2 8. プランバナナ遺跡	56
0 9 7. 西スマトラ州	23	1 2 9. クラテンの砂糖工場	57
0 9 8. ブキティンギ市	24	1 3 0. 古都スラカルタ市	58
0 9 9. ブンクル州	25	1 3 1. ススフナン家	59
1 0 0. バダン・ハリ河流域	26	1 3 2. ラウ山の霊廟	60
1 0 1. ムシ河流域	27	1 3 3. ディエン高原	61
1 0 2. パレンバン市	28	1 3 4. スマラン市	62
1 0 3. ランプン州	29	1 3 5. 三宝寺院	63
1 0 4. 錫のバンカ諸島	30	1 3 6. パシシル・中部ジャワ	65
B-2 西部ジャワ		B-4 東部ジャワ	
1 0 5. パスンダンの地	32	1 3 7. パシシル・東ジャワ	66
1 0 6. プリアンガン地方	33	1 3 8. トリニル遺跡	67
1 0 7. バンドウン市	34	1 3 9. ポロノゴのレオダンス	68
1 0 8. バンドウン工科大学	35	1 4 0. スラバヤ市	69
1 0 9. タンクバン・プラフ山	36	1 4 1. ジュンバタン・メラ	70
1 1 0. ガルット高原	37	1 4 2. トロウラン遺跡	71
1 1 1. プラブハン・ラトゥ	38	1 4 3. パスルアン市	73
1 1 2. プンチャック峠	39	1 4 4. ブランタス川流域	74
1 1 3. ボゴール宮殿	40	1 4 5. ネヤマ・トンネル	75

インドネシア専科

146.	山麓のチャンディ群	76
147.	ブリタル市	77
148.	高原のマラン市	78
149.	ブロモ山の旭日	79
150.	バニュワギ地方	80
151.	マドゥラ島	81

B-5 ジャカルタ

152.	首都ジャカルタ	83
153.	ジャカルタの由来	84
154.	バタビア市庁舎	85
155.	運河の風景	86
156.	コタ/旧市街地	87
157.	グロドック地区	88
158.	ムルデカ広場	89
159.	国立博物館	90
160.	タムリン通	91
161.	メンテン地区	92
162.	黄金の三角地域	93
163.	ブロックM	94
164.	TMI I公園	95
165.	ルバン・ブアヤ村	96
166.	トゥグー地区	97
167.	タンジュン・プリオク港	98
168.	都心は南へ	99
169.	ジャボタベック	100